

特定非営利活動法人どんぐり福祉会便り

令和4年7月20日号 発行：特定非営利活動法人どんぐり福祉会事務局
長野市篠ノ井布施高田775-1 Tel 026-299-3288 fax 026-299-3266
Eメール：donguri@an.wakwak.com URL：http://star.gmob.jp/dongurifukusikai/

～ ご挨拶 ～

コロナ感染がはじまって二年以上が経過し、漸く落ち着いてきたようにも見えましたが、また何やら新種のウイルスが蠢きはじめ、まだまだ予断は許せないようですが、「どんぐり福祉会」会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

「どんぐり福祉会」も早いもので2002年(平成14年)の設立から20年目の年に入りました。当初年間予算720万円弱、利用者、支援者十数人から始まった小規模作業所としての福祉会運営も今では令和4年度総会資料にもあるとおりA型、B型、相談事業、グループホームなど、利用者71名、相談者76名と支援に携わる職員38名など、また、予算総額1億8500万円となっており利用者数で出発時の10倍、予算額では25倍と、大きく前進することができました。これも、会員の皆様からの大きなご支援をいただいたおかげだと考えております。

しかしながら、感染対策が少し緩和されたとはいえコロナ禍も続き、円安やウクライナへのロシアの侵攻などによる原料不足や異常な物価高が福祉会の運営にもじわじわと影響してきております。そんな中でも、私たち理事、職員が一丸となって、この困難に立ち向かっていく所存です。なにとぞ、会員の皆様のさらなるご支援を賜りたく、今後とも引き続きよろしく願いいたします。

理事長 柿島 滋

～ 定期総会終わりました～

令和4年6月25日にどんぐり福祉会本部にて本年度の定期総会が行われました。本年度も新型コロナウイルス感染対策のため、会場集まる方は少人数にし、多くの方には書面表決をいただき滞りなく審議を終えることができました。

本年度につきましては役員改選や大きな事業変更はありませんが、A型のソラノシタについては、キノコの生産時期の短縮に伴い就労支援事業は大きく減少となりました。キノコともう一本の大きな

柱になる新しい事業を開拓していきたいと考えています。まずは国庫補助(社会福祉等整備費)の申請の準備を行います。

～ソラノシタ共和工場の改修工事～

先月、共和工場は改修工事を終え乾燥機を2機導入しました。今までは柿の木農場へ施設外就労として行っていたキノコの乾燥作業をいまは共和工場で行っています。新しく導入された機械はより機能が優れておりスムーズな仕上がりが期待されています。広がったカット作業室を分けて乾燥コーナーを併設したため少し手狭にはなりましたが、同じ工場内で作業が行えるようになったため効率よく作業が行えています。



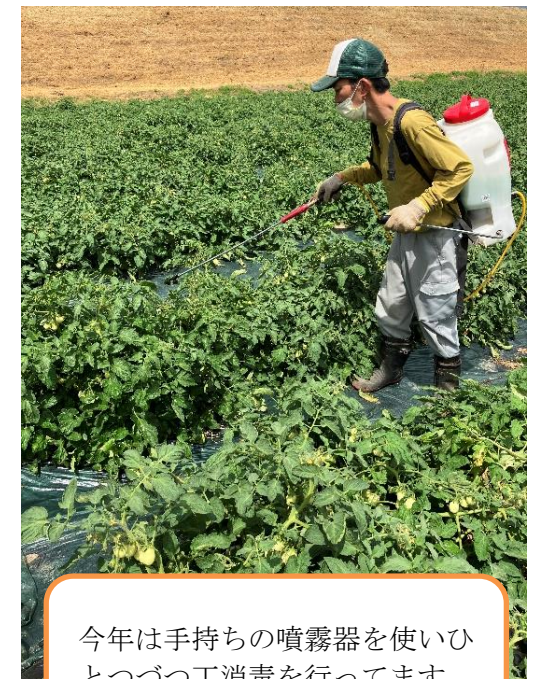
～農場では～

東寺尾の農場では今年もケール、加工用トマトを中心にハウスではキュウリとミニトマトを中心に栽培しています。過去にない速さで過ぎ去った梅雨、記録的な猛暑のなか勢いよく生長をしていきます。

すでにスーパーの地場産コーナーにはきゅうり、ミニトマトが数多く出荷され、これからも量は増していきます。ケールも収穫が始まり例年以上の収穫量を目指しています。

昨年度初挑戦であった加工用トマトについては、今年は病害虫の被害も少なく順調に育っており、たくさんの実が色づきを待っています。収穫は7月末からを予定しており例年以上の収穫量を期待しています。

もちろん例年通りに玉ねぎ、ジャガイモも収穫を行ってま。特に玉ねぎは市場が品薄になっているため例年以上に早く売れています。



今年は手持ちの噴霧器を使いひとつつつ消毒を行っています。